

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	取組の方向性	前年度の取組結果	取組結果への対応	関連数値目標
7-(1)-①	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(1)重度心身障害者(児)医療費助成制度の現物給付化の実施	障害福祉課(障害)	①・重度心身障害者(児)の医療費に係る利便性の向上を図るため、市町村との協議結果を踏まえ、平成27年8月の現物給付化の実施に向けて、制度の詳細部分の調整を行い、事務を進めます。 ・なお、現物給付化されると、医療機関の窓口で受給者証を提示し、通院1回、入院1日につき300円の一定の自己負担をいただくことで、後日、市町村に対して払い戻し請求を行う必要がなくなります。 ・なお、低所得者(住民税非課税世帯)については、引き続きご負担はありません。また、65歳以上で新たに重度障害となった方については、制度の対象外となります。	・平成27年8月から、重度心身障害者(児)医療費助成制度の現物給付化を実施しました。	・引き続き、制度の円滑な運用に努めるとともに、市町村の協力を得ながら、必要な調査を行うことを検討します。	
7-(2)-①	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域・精神)	①・発達障害、高次脳機能障害については、県としての広域的な専門支援拠点における支援の拡充やバックアップ体制を整えつつ、市町村においても相談支援に対応できるような体制の整備を引き続き推進するため、地域における専門性の高い人材の育成や、県内拠点及び地域内の関連支援機関とのネットワーク構築に取り組みます。	・高次脳機能障害に関する相談等は、県内3箇所の支援拠点機関を中心にを行っています。27年度の相談件数は、2万件弱でした。関係機関等との会議・研修もっており、地域でのネットワーク構築に取り組みました。 ・千葉県発達障害者支援センター主催研修 研修実施回数140回 延べ参加人数1,686人	・今後も引き続き、支援拠点機関を中心として地域のネットワーク構築・強化に努めます。 ・今後も同等以上の研修を実施し、地域における専門性の高い人材の育成を実施します。	7-2 高次脳支援拠点機関数 7-3 高次脳機能障害相談件数
7-(2)-②		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域)	②・発達障害のある人への理解の深化や支援体制の整備を図るため、地域において啓発や支援者養成を目的とする研修等を行うとともに、千葉県発達障害者支援センター(CAS)と地域の相談支援機関との役割分担を明確にし、連携を進めます。	・相談支援従事者専門コース別等研修及び発達障害相談員フォローアップ研修を実施しました。 ・千葉県内における発達障害に係る相談支援体制のリーフレットの作成及び配布を行いました。	・今後も同等以上の研修を実施し、地域の発達障害の相談支援が対応可能な人材を養成し、リーフレット等を配布することで地域の相談支援機関との役割分担を明確にし、連携を進めます。	7-1 発達障害者支援センター運営事業(研修等受講者数)(相談件数(地域相談支援機関での対応を含む))(再掲)
7-(2)-③		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(療育)	③・高機能広汎性発達障害のある人などの日中活動の場の整備を促進します。 ・また、発達障害のある子どもの子育て経験のある保護者をペアレントメンターとして登録し、その拡充や活動を支援します。	・ペアレントメンターを相談者140名に派遣し、家族の支援及び家族同士で支援できる体制の構築を推進しました。	・引き続きペアレントメンターを相談者に派遣し、家族の支援及び家族同士で支援できる体制の構築を推進します。	
7-(2)-④		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(精神)	④・高次脳機能障害のある人に対する支援について、各支援拠点機関の支援者の育成や地域連携の構築により支援体制を強化するとともに、高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会等を通じて、各支援拠点機関と連携しながら高次脳機能障害のある人の実態の把握や就労定着に繋がるよう就労支援の方法等について検討します。	・機関内や他機関との勉強会、事例検討会などを通じて、支援者育成を図るとともに、ネットワークの構築、普及啓発に繋がるよう努めました。	・関係機関とのネットワーク会議を開催し、連携強化に努めるとともに、支援や啓発上の課題を検討し、より一層支援をできるよう努めます。	
7-(2)-⑤		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域)、健康福祉指導課	⑤・矯正施設の退所者に対する支援については、保護観察所等の関係機関と連携のもと、矯正施設に入所する障害のある人が出所後に必要な福祉サービスを受けるための支援を行います。 ・また、医療観察法の対象者に対する支援についても、保護観察所等の関係機関と連携のもと、社会復帰できるよう支援を行います。	・相談支援体制整備に係る市町村会議を開催し、情報共有・意見交換を行いました。 ・平成22年10月1日開設から平成28年3月31日までの取り扱い件数累計 ・コーディネート業務 134件 ・フォローアップ業務 102件 ・相談支援業務 334件	・地域移行・地域定着に係る中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置促進を図るための検討を行います。 ・例年20校程度、福祉教育推進指定校を指定し、地域で一体となった取組を行っています。近年、学校の統廃合による減少等により、地域の小・中・高等学校が一体となった取組が難しくなっており、どのように取り組んでいくのが課題です。	
7-(3)-①	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(3)通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(療育)	①・地域で生活する重症心身障害の状態にある人等が、専門性を備えた施設で短期入所等のサービスを利用できるようにすることは、家族等を支援するうえでも重要です。 ・事業者によるこれらのサービスの提供を促進するため、福祉型短期入所事業所に対して、国の制度にはない報酬加算を引き続き実施するなど、必要なときに十分に利用できるサービス提供体制の整備に努めるとともに、制度の拡充等を検討します。	・強度行動障害者(児)を受入れた短期入所事業所4箇所、看護師を配置した短期入所事業所5箇所に県独自の補助金を交付することにより、身近な地域において重症心身障害者等が利用できる場の確保を図りました。	・引き続き看護師を配置した短期入所事業所に補助金を交付することにより、症心身障害者等が利用できる場の確保に努めます。	7-4 短期入所事業者数
7-(3)-②		(3)通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉課(地域)	2 医療的ケアが必要な障害のある人の在宅での暮らしを支援するため、市町村の支援状況の実態把握に努めるとともに、医療分野等との連携を含めた支援体制の整備等を行えるよう市町村協議会への支援に取り組めます。	・相談支援体制整備に係る市町村会議を開催し、情報共有・意見交換を行いました。	・相談支援アドバイザーの派遣等を通じて市町村協議会への支援に取り組めます。	

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	取組の方向性	前年度の取組結果	取組結果への対応	関連数値目標
7-(4)-①	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	①・ひきこもり地域支援センターにおいてアウトリーチ型の支援を充実するとともに、同センターで開催している「事例検討会」等を活用して、ひきこもりから仕事や学校に行けるようになり、かつ家族以外の人との交流ができるようになった事例を蓄積・分析することにより、ひきこもっている人の自立促進のための対応策の検討をし、ひきこもり支援コーディネーターのスキルアップを図ります。	・情報交換及び事例検討会を月1回実施し、支援センター内での情報共有や対応のスキルアップを図りました。	・今後も引き続き、支援センター職員のスキルアップを図り、ひきこもり者や家族等への支援強化に努めます。	7-6 ひきこもり地域支援センターの相談見込み件数 7-8 アウトリーチ型の訪問件数
7-(4)-②		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	県民生活・文化課	②・また、「子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図ります。	・千葉県子ども・若者支援協議会の代表者会議1回、担当者会議4回(委員会・ワーキンググループを含む)を実施し、「セレクトシステム」(困難を抱える子ども・若者の相談・支援機関ガイドブック)を作成しました。 ・人材育成研修を2回実施しました。	・千葉県子ども・若者支援協議会を引き続き開催し、「困難を抱える子ども・若者の居場所調査」や「人材育成研修」を実施します。	
7-(4)-③		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	③・「ひきこもりサポーター養成・フォローアップ研修事業」を実施し、より身近な支援者を育成するとともに、ひきこもりサポーターを派遣する市町村等、関係機関と連携しながら、ひきこもりの早期発見に努めます。	・養成研修を1回(2日間・延べ19名受講)、フォローアップ研修を1回(1日・延べ6名受講)実施しました。	・ひきこもりサポーターの養成・フォローアップに努めるとともに、市町村と協力しながら、ひきこもり者への支援を進めます。	7-5 ひきこもりサポーター養成者数
7-(4)-④		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	県民生活・文化課	④・千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」におけるひきこもりに関する相談に努めます。	・220件のひきこもりに関する相談を受理し、必要な助言や専門支援機関の紹介を行いました。	・引き続き千葉県子ども・若者総合相談センターを運営し、ひきこもりに関する相談を含め対応します。	7-7 ライトハウスちばの相談件数(ひきこもりに関するものに限る。)
7-(4)-⑤		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害福祉課(精神)	⑤・今後、市町村の取組みの現状把握に努めるとともに、実態調査についても検討していきます。	・他課関係部署や関係機関との会議等により、市町村の取組みの現状把握に努めました。	・引き続き、市町村の取り組み状況の把握に努め、課題等を検討していく予定です。	